

サービス
身知精
正

株式会社 環境システムズ

家族・兄弟と思って接し、活躍できる環境を



社員の声



藤牧 歩さん
(入社:平成22年9月)

やりがいのある仕事を任されています

・仕事内容
工場内に運び込まれた廃棄物の選別作業をしています。季節による温度差が激しいので、体調に気を付けながら業務に取り組んでいます。

・仕事内容
入社当初は工場内の清掃を担当していました。しかし、時間がかかってしまったり、上手に清掃ができなかったりなど、苦手意識があったため、そのことを上司に相談した際に、別の仕事として選別作業を勧められました。選別作業は私に合っていて、仕事を「楽しい」と思えるようになりました。自分に合った仕事に出会えたことにより、現在まで仕事を続けることができたのだと思います。分からないことや困ったことがあればすぐに相談ができる社内環境のおかげで、とても安心して仕事に打ち込んでいます。

・就職を考えている障害のある方へ
自分の得意なこと、苦手なことを理解できれば、「こういう仕事なら自分でもできる」と自信を持てるようになり、やりたい仕事の方向性が見えてきます。苦手なことを続けても心身ともに疲れてしまうので、自分に合った仕事に就けるように頑張っていたきたいと思います。

社員の1日のスケジュール

障害のある社員12名のうち、知的障害のある藤牧さんの仕事の様子を紹介いたします。

- 8:00 ● 出社
朝礼で1日の作業内容を確認した後に、全員で社内の清掃を行います。
- 8:10 ● 作業開始
工場内に搬送された古紙の選別作業を行います。全体の流れの中の最初の工程に当たる部分のため、特に気を付けて取り組んでいます。
- 12:00 ● 昼食
休憩室でみんなと一緒に談笑しながら昼食をとります。
- 休憩
休憩中は社員みんなで集まって談笑をしています。仕事の話からプライベートな話までいろいろなことを話し合っているため、とてもリラックスすることができています。
- 17:00 ● 退社
終了ミーティング後、退社します。



■缶、ペットボトルの選別作業
ベルトコンベアの上を流れてくる廃棄物を、目視で選別作業をします。



■工場内の清掃
朝礼後に、社員全員で工場内の清掃をします。



■古紙の選別作業
工場内に搬送された古紙の選別作業をします。

雇用に際しての取り組み

「同じ社員」としての関係

仕事は1年、2年と続けていければできるようになるため、仕事よりも先に、日常生活で靴を脱いだら揃えることや、自分の担当業務が終わったら他に何か手伝えることはないか周囲を確認をとるなど、社内での行動・マナーに重点を置いて指導をしています。そのため、現在では障害の有無に関係なく、皆が打ち解けた雰囲気職場環境ができあがっていると思います。



得意なことを見つけて伸ばす

障害者雇用を始めた当初は、それまで当社で使用していたマニュアルは通用せず、口頭でも伝わらなかったため、マンツーマンで教育しました。仕事を教える過程で廃棄物の選別作業に興味を持った障害のある社員がいたので、彼にその仕事を任せてみるとすごい早さで上達しました。現在では誰よりも早く、正確に選別作業ができるようになり、事業所にとって欠かせない立派な戦力として頑張ってくれています。



長い目で見る

障害者雇用を進める上で大切なことは、短期的にはなく、長期的な視点で彼らを見てあげることです。最初は上手にできなかったとしても、活躍できる職場環境を整備することによって、驚くほどの急成長を遂げることもあります。戦力となった障害のある社員の働きぶりは、一緒に働く障害のない社員に「自分たちも負けていけない」といった競争意識を生み、会社全体に良い影響を与えてくれると思います。



障害のある社員のモチベーションを上げる

障害があるからといって、簡単な清掃や誰でもできるような単純なことだけをやらせるのはいけないと思います。様々な業務を任せることにより、障害のある方にも社員としての責任を持ってもらうことが大切です。それにより、仕事にやりがい生まれ、モチベーションのアップにもつながっていると思います。



事業内容

株式会社環境システムズは、様々な廃棄物処理・リサイクル技術を用い、多様な廃棄物に含まれる有用資源の再利用と資源化に取り組んでいます。まず、廃棄物を有用な資源を含んだ副産物としてとらえ、そして環境に負荷をかけずに再生・再利用・資源化していく。この理念のもと、当社は地球にやさしい、人にやさしい、ロハスな社会の構築に貢献しています。



障害のある社員の業務内容

- ・発泡スチロールリサイクル
- ・古紙選別
- ・缶、ペットボトルの選別
- ・一般事務



障害者雇用を検討される事業所のみならずへ

障害のある方を大切な家族・兄弟と思って接すること



常務取締役 工場長
本郷 照二さん

信頼し、信頼される関係を

障害のある社員が職場に定着するためには、企業が彼らの良き相談相手になることが必要です。日頃のあいさつ、何かあればすぐに声をかけ、仕事のこと以外でも相談に応じるなど、親身に接することによって信頼関係が築けると思っています。その信頼関係によって、障害のある社員が企業のために仕事を頑張ろうという気持ちになり、この会社で働き続けて

くれるのではないかと感じています。

彼らのことを信じる

障害があるということだけで「仕事ができない」と一方的に決めつけてはいけません。障害のある方が力を発揮する環境は必ずあり、その環境を整備するのが企業の役目です。時間はかかるかもしれませんが、「企業の戦力として活躍してもらいたい」という気持ちで日々向き合っていくことが大切です。

■事業所データ

設立 1996年(平成8年)
常用労働者数 96人
代表者 代表取締役
塚田 敏則
所在地 〒370-1201
高崎市倉賀野町
3250-7

TEL:027-350-5353
URL:www.ksi-eco.jp



■会社概要

廃棄物処理・リサイクル・収集運搬などを中心に事業展開をしています。

■障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 12人
うち重度障害のある社員数 2人

区分	身体	知的	精神
正社員	2人	9人	1人
契約社員			
パート			
アルバイト			